

会議録（会議要旨）

会議名	武蔵村山市内循環バス検討協議会委員の委嘱及び第1回武蔵村山市内循環バス検討協議会
開催日時	平成19年5月30日（水） 午後1時30分から午後3時30分まで
開催場所	市役所3階 301会議室
出席者及び欠席者	<p>（出席者）</p> <p>委員：石川 守、加藤 敬成（小椋氏の代理者）、佐藤 達雄、金井 治夫、国田 正徳、斉藤 静子、茂野 宏美、高橋 薫、高橋 哲、樋口 豊子、比留間 勉、藤井 敬宏、牧野 和宏、副市長（敬称略）</p> <p>事務局：企画財政部長、企画政策課長、樋口 雅秀</p>
議 題	<p>1 委員の委嘱等について</p> <p>（1）委嘱書の交付</p> <p>（2）市長挨拶</p> <p>（3）委員の紹介</p> <p>2 第1回武蔵村山市内循環バス検討協議会</p> <p>議題1 市内循環バス検討協議会副会長の互選について</p> <p>議題2 会議の取扱いについて</p> <p>議題3 市内循環バスの現状把握等について</p> <p>議題4 その他</p>
結 論	<p>1 本検討協議会の会長には設置要綱に基づき、日本大学理工学部教授 藤井敬宏委員、副会長に委員の互選により武蔵村山市議会議員 金井治夫委員に決定した。</p> <p>2 「市内循環バス検討協議会の会議に関する運営要領」及び「市内循環バス基本方針」については、事務局案のとおり決定した。</p> <p>3 今後の会議の進め方の中で、第2回会議については、現行のバスルートの試走を行うこととした。</p> <p>4 第2回会議は6月28日（木）午後2時00分から、第3回会議は7月20日（金）午後1時30分から決定した。</p>
審議経過 （は会長、副会長委員、は事務局）	<p>1 委員の委嘱等について</p> <p>（1）委嘱書の交付</p> <p>（2）市長挨拶</p> <p>委員の職を快くお引き受けいただきましてありがとうございます。</p> <p>武蔵村山市は交通アクセスが恵まれない市であることから、昭和55年に市内循環バスの運行を開始しました。当初は公共施設を結ぶことを目的としておりました。昭和55年以来、乗客1人当たりの補助金額は594円でありましたが、立川バスにお願いし、リタイアしたベテランの運転手に運行してもらうことにより、経費が下がり、1人当たり400円まで下がりましたが、財政負担が厳しいとのことから、平成11年に1ルートから3ルートに拡大し、公共施設や駅への結節を行いました。</p> <p>その結果、以前は年間9万人の乗客が限度であったが、3ルートになり、年間30万人が乗るようになりました。道路も整備されたり、ショッピングセンターができたことで、今後バスをどのように運行していったらいいのかと考えております。前回、開催した検討協議会では、神明ルートは旧道を運行しているので、道路が狭い、カーブが急などの理由から新しいルートにしたらどうかとの意見もありました</p>

が、報告書どおりに運行できないこともありました。

また、旧青梅街道には西武バスが走っていることから、権益も問題となるのではないかと考えていますので、ルート決定はなかなか難しいものでございます。

色々な観点からご挨拶をさせていただきましたが、皆さん、色々な角度から検討して適切な報告書をいただけたらと思っております。

(3) 委員の紹介

2 第1回武蔵村山市内循環バス検討協議会

議題1 市内循環バス検討協議会副会長の互選について

設置要綱に基づき会長に日本大学理工学部教授 藤井敬宏委員、副会長に委員の互選により武蔵村山市議会議員 金井治夫委員に決定した。

(会長挨拶)

このたび、協議会の会長の職を務めさせていただきます日本大学理工学部の藤井と申します。今回、協議会として路線計画をするということですが、私は前回も病院が開院するというので、協議会の会長をさせていただきました。武蔵村山市の核となるものが計画されているということで、高齢者等も利用する循環バスのルートを先行的に見直すべきではないかとの話がありました。一部地元の意識の違いがあり、報告書どおりのルート改正にはなりません。

今回は、ダイヤモンドシティが開業したことによるルート変更によって今まで循環バスが走っていた方の既得権がなくなるなどの不便さはあると思いますが、市内のバス事業に関してはその役割を果たす必要があると思っております。

むずかしい問題が出てくると思いますが、委員の皆様の御協力を得ながら進めていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

(副会長挨拶)

皆様の意見をいただいて、市政に反映できるようにしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

議題2 会議の取扱いについて

事務局から「市内循環バス検討協議会の会議に関する運営要領」及び「市内循環バス基本方針」について説明。

説明省略

御意見、御質問がないようですので、原案のとおりとさせていただきます。

本日は、日本大学の学生3名が傍聴に来ておりますのでよろしくお願いいたします。

議題3 市内循環バスの現状把握等について

1 市内循環バスの現状等について

事務局から「市内循環バスの現状」について説明。 説明省略

市内循環バス検討資料について御説明いただきましたが、どの問題からでも結構ですので何か質問がありますか。

循環バスの利用頻度と利用者数について、どの路線が多く乗っているのかなどの

データを出していただけないか。

- 上北台駅などを利用すると思いますが、駅と公共施設を一緒のルートで廻っているので、駅に行くための路線とその他を明確に分けた方がいいのではとの考えを持っています。今後検討していく中で、どこで乗っているのか、市民のニーズがどうなっているのかなど、その内容に沿った資料を提出していただけないか。過去にアンケート調査やOD調査を行っていますので、適時対応したいと思いません。

市内に駅がないのでバスで対応しなければ交通を確保できない。コミュニティバスという仕切りをどこでつけるかということもあると思います。目的が混在しているように思うので、運行の仕方の工夫が必要であると思っています。こういったことも今後の協議会の中で議論していかねばならないと考えています。基本的な要望として、運行本数が少ないので、ルートを効率的に考えて議論していただきたい。

利便性、効率性を考えると運行の仕方考えが変わってくると思います。また、補助金を注ぎ込んで、市税に頼らざるを得ないなどの制約条件もあります。予算ベースで考えると、中期的に見てどのような運行が考えられるのだろうかということも考えていきたいと思っています。

前回の答申で反映された部分、されなかった部分を教えていただきたい。資料としていただきたい。

路線については、東西横断ルートの中で、神明橋北へ右折するルートではなく、左折するルートが前回の意見であったと考えております。また、回送バスの利用についての意見もいただきました。反映されなかった大きな部分は以上の2点です。また、ルートの一部変更は行っております。次回に配布できるようご用意いたします。

神明につきましては、道が狭いことや坂があるなどの理由で答申からはずしましたが、市民の要望が強くて変更せずに残っております。また、最低限のルートを組んだのでダイヤモンドシティについては議論しておりません。

当時は運賃に関してもワンコインがふさわしいとの意見も出ましたが、今回は法改正もあり、協議会で合意できれば変更できるようにもなっています。

今回は、既存のルートだけで固定しないで、様々な意見をいただきたいと思いません。

以前、通勤、通学で利用していたが、日産の前の道路が狭くて時間がかかった。バスは路線に関して融通が利くので、道路をよくしてバスが走れるよう検討したい。

コミュニティバスとしては、通勤、通学などの経路として使うのがいいと思う。ダイヤモンドシティはレジャー的である。病院に行く方はコミュニティバスを使うのは不便であるので、タクシー等で移動すればいいのではと思っている。

朝と日中のバスの使い方を考えるなどの検討も必要ではないか。

従来のバスのイメージではなくて、昼間に高齢者が使うバスについては、乗合タクシーみたいなデマンド方式を行えば、コース設定も自由になる。そういった方向で議論することも可能か。

市の公共交通として福祉バスとするなどの上位計画として考えていかなければいけないのではと思います。市内では、どういうものがあるのかも考えていきたいと思っています。一つのバス事業として通勤に照準を合わせるということであれば、路線バスとも照らし合わせていかなければと思います。市にとっては、できるだけ早い運行ルートというものも必要だと思いますが、様々な角度から考えていきたいと思っています。

去年は、ダイヤモンドシティの開業が間近だったこともあり、庁内の検討会を開催し、路線を変更いたしました。今回は、現在の交通環境にあったバス路線にしたいと考えております。ダイヤモンドシティもできたことにより、人がくるようになったがバス路線が少ないことから、循環バスを利用する人が多く、途中からでは乗車できないという苦情も受けています。今後の課題という形でデマンド方式等の話をいただければと思います。

デマンド方式はいい意見ですが、あまり上げすぎると分からなくなる可能性もありますので、循環バスの利便性にしぼった話もしていけないのではないかと思います。協議会で出た副産物として考えをまとめることも手かなと思います。

住民に対するPRはどのように行っているのか。また、今回の資料にある要望はどの方からのものなのか。

前回の協議会については、報告内容について、市の広報やホームページで公表し市民の方の意見をいただきました。ダイヤモンドシティが開業した際の変更も市報やホームページで周知いたしました。また、要望につきましては、市民の方からいただいたものでございます。

この協議会のほかに、住民で構成する循環バスの委員会がありますか。

市民で構成するものはこの協議会だけです。また庁内では市職員で委員会を作って開催しております。

利便性はそこそこあるように感じる。補助金が多いということなのかもしれないが、他のバス事業者と比較するとそうでもないのかなと思うので、今の補助金でより有効なルート等ができるようにするのか、利用が少なくても行きたいところへ行くようにするのかを議論すべきなのかなと思っている。全体のバスサービスを考えていくことも必要ではないかと思う。

1回目、2回目の会議はある程度意見をいただいて、現状の理解を深めるのもいいのかなと思っています。

前回の協議会の中で市民を第一に考えるといいたしましたが、状況が変わってきており、最寄駅から人が入ってくることも担わざるを得なくなってきていると思います。

課せられた命題が多いので、悩む事項を出してもらってから叩いていったほうがいいのではないかと思います。委員の皆さんも率直な意見を出していただきたいと思っています。

2 今後の会議の進め方について

「今後の会議の進め方について」説明。

